

市民懇談会

日 時 令和3年11月3日（水・祝） 午後1時30分～午後4時30分まで
場 所 もりやまエコパーク交流拠点施設 多目的ホール
テーマ 「未来につなぐ守山の環境について考えよう」

◆話し合いの流れ

ステップ1

「身近に感じる環境の変化について」

ステップ2

「守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか」

ステップ3

「理想の環境を目指すために、何ができますか」

◆講評

守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議 委員長
龍谷大学 政策学部 只友 景士 教授

- ・ 守山ならではのホタルや琵琶湖、それだけでなく交通や日常の暮らし、仕事などの経済活動のなかでも環境を大切にしたいという話が出ていた。利便性を求めるという意味の住みやすさではなく、守山の豊かな自然を未来に残し、若者が住み続けたいくなるような、一度出て行ってもまた戻ってきたくなるようなまちでありたいといった話が印象的であった。
- ・ コロナがあったなかで、今回、1年半以上ぶりに市民懇談会を開催できた。様々な立場の方と意見を出し合い、一緒に考え、自分の考えだけでなく、他人がどのように考えているのか感じる事が出来るこういった場合は、直ぐにではなくとも、徐々に守山というまちを良くしていけると思う。本日話し合った内容は、家に帰ってからも、家族の方と共有してみてほしい。

◆発表の意見

以下のとおり

【A：中山道グループ】

ステップ1（身近に感じる環境の変化について）

（良くなった点）

- ・琵琶湖がある
- ・道路整備が進み、自転車で走りやすくなった
- ・湖南幹線、8号バイパスなどの道路が良くなった、渋滞が緩和された
- ・歩道が増えた
- ・道に白線が増え、安心して歩けるようになった
- ・スーパーやショッピングセンターが増え、便利になった
- ・公園が多い
- ・駅前が整備され、景観が良くなった
- ・景観の良さ（比良、三上山）
- ・近所の川の水質が良くなり、魚やホタルが多くなった
- ・ゴミの分別方法が変わり楽になった
- ・木浜遊歩道ができ、散歩を楽しんでいる。もっと整備されることを楽しみにしている

（悪くなった点）

- ・ゴミ出しは楽になったがゴミ出しのマナーは良くならない
- ・ゴミの出し方が緩くなり、戸惑っている
- ・高齢者が多くなり、子どもの数が少なくなった
- ・家が建ちすぎている、マンションの数が増えた
- ・琵琶湖周辺のゴミが多い
- ・前に見れていたところにホタルがいなくなった

ステップ2（守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか）

- ・湖周道路が綺麗になってほしい
- ・日本一自転車が活用されているまち
- ・細い道などに暗い道が多いので街灯を増やしてほしい
- ・市電が欲しい（富山市のLRTのような 公共交通の整備による観光促進）
- ・琵琶湖周辺の整備
- ・このままの景観を維持してほしい
- ・ゴミの分別等によって環境保全を行っていることをもっとPRしてほしい
- ・ボランティア等による自然保護活動へ参加してみたい
- ・ホタルで日本一有名な街になってほしい
- ・もっとゴミがリサイクルされている様子が見られるようになっている
- ・生ごみ処理機を全家庭配布してほしい
- ・自身の周囲を綺麗にすることで周囲へと美化活動が広がってほしい
- ・一人一人の美化活動への自覚を促す

ステップ3（理想の環境を目指すために、何ができますか）

- ・プラスワン活動 いつもの行動、習慣に1つ環境にいいことを加えてみる（ゴミ拾いなど）

- ・環境意識を高めるために写真を多くとる習慣をつくる（守山の美しい自然豊かな風景などを記録に残していく）
- ・田畑を多く残すために地産地消したい
- ・家で車を洗わず洗車場を作って水を汚さない
- ・ラーメンの汁をそのまま捨てない、環境にやさしい洗剤を使う
- ・雑紙類に出すなどして軽量化する
- ・必要以上に買わない、出すゴミを減らす

【B：ホテルグループ】

ステップ1（身近に感じる環境の変化について）

- ・春、夏、秋、冬みたいな四季になっている
- ・夏が暑く、雪が少なくなった
- ・自然災害、ゲリラ豪雨
- ・台風が減った？
- ・アウトドアをする人が増えた（琵琶湖でのレジャー、釣り、ボート）
- ・夜が静か
- ・電気自動車が多い
- ・新しい家が次々に建っている
- ・銀座商店街が活性化
- ・スーパーがいっぱいある
- ・高層マンションが建ち、冬の一時期日が当たらなくなった
- ・広い道が増えた
- ・守山は子どもの遊べる公園がたくさんある
- ・数年前に「ハリヨ」がいなくなった
- ・まちなかの河川のまわりが人工的になりすぎている
- ・ゲンジボタルをみかけていない
- ・ヨシが減っている？
- ・外来植物が増えている
- ・水鳥が多い
- ・赤とんぼを見なくなった
- ・夜にウォーキングしている人が多い
- ・電車が混んできた
- ・高齢者が多くなった
- ・10月からゴミの分別が変わったが、つつい細かく分けてしまう

ステップ2（守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか）

- ・自然との触れ合いを大切にすまち
- ・四季の花が楽しめる
- ・歴史的スポットを残したい
- ・手入れをしながら自然を残す、外来植物は見つけたらすぐ取り除く
- ・自然環境を大切にすまち
- ・田んぼ、田園風景の残るまち

- ・散歩、ウォーキングのできるまち
- ・ホテルが見れるまち
- ・高層マンションはもう建てないでほしい
- ・取り付け道路の混雑解消
- ・子どもに本物に触れあえる環境を残す
- ・市全体がキッズニアのような体験のまちに
- ・子どもが安心して楽しく遊べる環境
- ・製造業が盛んなことを活かす
- ・農業、工業を子どもが体験できる
- ・防災環境が整備されたまち
- ・買い物カーのような車が近所に来たら良い
- ・歩いて行けるスーパーが2、3くらいほしい
- ・生活に関するインフラがよく整備されている
- ・車とロードバイクの共存（道路整備）
- ・アウトドア客の一定のルールやマナー推進
- ・歩いてor自転車で巡って楽しいまち

ステップ3（理想の環境を目指すために、何ができますか）

- ・自転車を使わない
- ・地球のため、健康のため自転車を使う
- ・SNSを活用する（SNS勉強会、SNS活用）
- ・農業、産業、工業すべての体験ができるように（公営でしてほしい）
- ・農家の保護
- ・太陽光発電→さらにメリットを
- ・市の広報を読む
- ・残したいもの（コト）を利用する
- ・外来植物を間違えて植えないように回覧版、勉強会、SNSを活用

【C：菜の花グループ】

ステップ1（身近に感じる環境の変化について）

- ・良い気候が少ない（春、秋が短い）
- ・大雨に不安を感じるが増えた
- ・駅前に住んでいるが飲食店が開いて明るくなった
- ・もーりーカーでここ（市民懇談会の会場）まで来れた
- ・えんまどう公園の利用者が激増した
- ・エコパークが出来て、仕事帰りにプールができるようになった
- ・中山道の街並み、頑張っているが統一できていない
- ・田んぼや畑が住宅街に変わっている
- ・住宅が増えた
- ・外来種のカメ、アライグマを見るようになった
- ・ザリガニ、アマガエルが減った
- ・そこらにゴミが捨ててある

- ・近所の公園にたばこの吸い殻が増えた
- ・高齢化で自治会の担い手がない
- ・守山に戻ってきて、年数回の掃除に参加した
- ・ゴミの分別が楽になった

ステップ2（守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか）

- ・昔のように駅前や商店街でお祭りがにぎやかになってほしい
- ・エコパーク、芦刈園等にもおしゃれなレストランを作ってほしい
- ・観光客をもっと呼べるように宣伝を
- ・地球市民の森の中にレストランを作ってほしい（多くの女性が望んでいる）
- ・住宅街は多いほうが良い（若い世代が地元で住みたくなるために）
- ・子ども（次世代）が戻ってくるまちに（アルバイト、仕事がない）
- ・豊かな自然と美しい街の共存
- ・適度に田舎が良い
- ・滋賀県で一番住みよいまちになってほしい
- ・様々な動植物と共存できるまちにしていきたい
- ・琵琶湖が好きなので守ってほしい
- ・子どもが安心して遊べる場所が増えればうれしい
- ・夜の団地内が暗い、もう少し灯りが欲しい
- ・保育園、幼稚園を増やしたほうが良い
- ・歩道を整備してほしい
- ・ずっと住めるように今の住居を選んだので買い物の場などが無くなったりしないようにしてほしい
- ・子ども、高齢者、障害者など様々な人があたりまえに住めるまちであってほしい
- ・中学校給食を早く進めてほしい

ステップ3（理想の環境を目指すために、何ができますか）

- ・エアコンではなく窓を開け、電灯ではなくカーテンを開けて光を採る
- ・自治会などの地域掃除に積極的に参加する
- ・エコバッグを使う
- ・ゴミ拾いする大人の背中を子どもに見せる
- ・環境負荷が高い商品を買わない
- ・個人のマナーの向上、道徳心 子どもや孫に見本を示す
- ・子どもが虫や動物に触れあうイベント等をする
- ・エコ活動（ポイント貰える）
- ・外来種の駆除

【D：メロングループ】

ステップ1（身近に感じる環境の変化について）

- ・公共の場でのゴミ箱減少
- ・粗大ゴミ処理の簡素化
- ・ゴミ分別の簡素化
- ・ゴミ分別が楽になった

- ・新しい環境センターが出来た
- ・水が道路にあふれる事が少なくなった
- ・自然が豊か
- ・駅近などでホテルが見れる
- ・地球市民の森 桜が綺麗
- ・田畑の住宅化
- ・虫が減っている？
- ・河川や道端のゴミのポイ捨てが少し目立つ
- ・ホテルが少なくなった
- ・野生のサルが民家におりてくる
- ・ゲリラ豪雨の増加
- ・地震頻発
- ・住宅地や農道に車が増えた

ステップ2 (守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか)

- ・自然を楽しめるまちであってほしい
- ・綺麗な川や街灯(LED)、ホテルが住みやすい環境を
- ・綺麗な水(琵琶湖)を取り戻す
- ・交通のインフラ整備(車がなくとも移動可能な生活)
- ・ゴミ問題について数年単位でのキャンペーン実施
- ・正しいゴミ分別の浸透、マナーの向上

ステップ3 (理想の環境を目指すために、何ができますか)

- ・ゴミ分別 子どもへの啓発
- ・ゴミ分別 資源ゴミをしっかりと分ける
- ・ゴミ分別アプリの活用
- ・ゴミの分別知識をきちんとつける パンフレットや広報で情報収集
- ・無駄にゴミを出さない生活を目指す
- ・自治会清掃への参加
- ・何かボランティアに挑戦する
- ・気が向いたとき、道路のゴミを拾う
- ・環境イベントなどの参加
- ・積極的に公共交通を利用

【E：妙蓮グループ】

ステップ1 (身近に感じる環境の変化について)

- ・子どもや家が増えた
- ・ホテルを見たことがない、努力しないとホテルが見られない
- ・田が家や店になった
- ・開発が進み、自然が狭まった
- ・ゴミの分別方法が変わった
- ・季節感が変わってきた
- ・降雨量が多くなった？川が氾濫したと聞いた

- ・バスが減った
- ・道路が整備され、広くなったように感じるが朝夕の渋滞が良く見られる
- ・太陽光発電している家を良く見かけるようになった

ステップ2（守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか）

- ・通学専用の道路の整備 子ども、若者にとって住みやすい市へ
- ・子育て支援に積極的にかかわる体制を周知する（年代間の交流を増やす）
- ・県立守山中をもう少し綺麗に
- ・ある程度は田、自然を残す
- ・休耕田を復活→農業ができないか？
- ・防災の準備としての公園（緑地）の整備→市民への周知
- ・生ゴミを有効活用する
- ・ミニバスなど市民の足になる公共交通を増やす
- ・車で移動しやすい道
- ・まずある家（空き家）を活用する

ステップ3（理想の環境を目指すために、何ができますか）

- ・地域内の交流 まずはあいさつから 自治会、地域の関係を密にする
- ・町内の活動に興味をもつ
- ・食材を無駄にせず使い切る
- ・暖房等の設定を低めにし、衣類で調節する
- ・洗剤を使用する際は石けんを利用する
- ・空き家、空地にならないために、家や土地の処分方法を考えておく

【F：田園グループ】

ステップ1（身近に感じる環境の変化について）

- ・害虫が増えた
- ・10年前にはカワセミを見たが最近見ない
- ・川の水が綺麗
- ・田んぼが埋められ、家が建つ
- ・雪が積もりにくくなった
- ・夏が短くなった
- ・バスが増えない（本数少ない）
- ・人が増えてもまちが綺麗なまま（住環境が良い）
- ・乱開発がない
- ・人通りが多いとゴミがポイ捨てされる

ステップ2（守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか）

- ・琵琶湖を綺麗に
- ・田んぼや畑をなくさないでほしい
- ・ほたる条例の強化
- ・ホテルの住める環境維持
- ・幹線道路の渋滞無し
- ・湖岸の再開発

- ・自転車で安心して走れる
- ・狭い道が車の抜け道にならない
- ・丁度良い田舎
- ・芝生のある広い公園が増えてほしい
- ・子どもが自然と触れあう場所が多い
- ・守山の素晴らしい環境や自然を発信し、市民が知る
- ・美味しい野菜を作ったり食べることができる
- ・ちょうどいい(憧れの)田舎
- ・バスの本数が増え、市内のバス料金が安く一定に

ステップ3 (理想の環境を目指すために、何ができますか)

- ・地域活動への参加 (自治会)
- ・人口増でも美しい街並みを保つ→清掃参加
- ・川や道路の草刈り、ゴミ拾い
- ・守山の良さを知る (SNSなどの積極的な利用)
- ・丁度良い田舎をアピール (SNSなど)
- ・守山の良い所を巡ってみる
- ・ボランティアに参加する、まちのことをもっと知る
- ・分別、リサイクルをきちんとする
- ・食べ物を残さない
- ・交通量を減らせるように、近場は自転車で
- ・公共交通を利用する
- ・地産地消する
- ・市政に積極的に参加できる雰囲気作り
- ・事業所における、社員が辞めない (居心地の良い) 雰囲気作り
- ・時差出勤、ウェブ会議
- ・ミニバス(市バス)の整備
- ・高齢者が免許証を返納しやすい制度作り

【G：まつりグループ】

ステップ1 (身近に感じる環境の変化について)

- ・道路が広がった
- ・人口が増えた
- ・田んぼが減った
- ・ゴミの分別が簡素化された
- ・雨が増えた
- ・積雪量が減った
- ・人の集まる機会、人とかかわる事が少なくなった
- ・農地が減った
- ・ニゴロブナがいなくなった
- ・近くの川の生き物が減った気がする
- ・ヨシが減った
- ・ホタルがいなくなった

ステップ2 (守山の未来の自然・まちの環境はどうあってほしいか)

- ・バラやコスモスを使ったスポット、イベントが増えてほしい
- ・子どもと一緒に楽しむ→自然や農家の方と触れ合うきっかけに
- ・バスの本数が少ない
- ・花いっぱいのみち
- ・地域に住む皆が守山市の未来の自然、まちの環境のために能動的に動く

ステップ3 (理想の環境を目指すために、何ができますか)

- ・健康維持のため、徒歩や自転車を使う
- ・守山のことをもっと知る
- ・琵琶湖周辺のゴミ拾い
- ・中、高校生にも地域の行事に参加してもらい、意識をもってもらう
- ・関心を広げる、興味をもってもらえる事をする